

平成22年第4回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	6番	小宮國暉 (60分)	<p>1. “明日の羽村” をどのように築いていくのか</p> <p>(1)第5次長期総合計画の策定に向けて、市のこれまでの取り組み経緯は。</p> <p>(2)現在の総合計画をどう評価し、次の計画・まちづくりにどのようにつなげていくのか。</p> <p>(3)厳しい社会経済状況を踏まえ、財政面でどのような課題があると考えているか。また課題を解決するためにどのような対策を講じているか。</p> <p>(4)平成19年9月定例会の一般質問以来、“明日の羽村”を築いていくためには、たえず行財政改革を推進すべきであると問題提起してきた。市行政みずからの行財政改革推進プランの策定とその進捗状況及び今後のスケジュールについて、伺う。</p> <p>2. スtockマネージメント（公共施設の維持管理）について</p> <p>(1)市は、「Stockマネージメント」に対し、どのように定義・指針を定めて、どう取り組んでいるか。</p> <p>(2)具体的に公共施設の種別・用途別・年度別・事業費等の総合的な「Stockマネージメント」計画はあるか。ない場合、いつまでに策定できるか。</p> <p>(3)道路の「Stockマネージメント」について、どのように考えているか。</p> <p>①道路舗装の老朽度の判定はどのようにしているか。</p> <p>②改修の優先順位について計画はあるか。</p> <p>③市民からの苦情等に対して、どのように対応しているか。</p> <p>④「Stockマネージメント」における優先順位と苦情等とは、どのような考え方をしているか。</p> <p>(4)今後、「Stockマネージメント」をどのように活用していくのか。その主なる課題は何か。</p> <p>3. 国体に向けての駅周辺整備等の施策について</p> <p>(1)国体開催に向け、お客様を迎える準備として施設の整備にどのように取り組んで行くのか。</p> <p>①羽村駅自由通路の拡幅は長らくの市民全体の願いでもあり、懸案となっている。国体開催までに完成すべきではないか。</p> <p>②羽村駅西口の広場を、特徴ある独自のコンセプトをもった広場の将来像にむけて、好印象にするため、現状の活用をはかって整備をすべきと考えるがいかがか。</p>	9月7日

2 人目

8 番

石 居 尚 郎
(60 分)

- ③西口広場よりスポーツセンター周辺にいたる市道について、歩車道の色分け区分等の安全整備と快適性のあるものに工夫すべきではないか。
- (2)羽村駅西口周辺の印象、イメージアップを図る考えはあるか。
- (3)お客様をもてなす方法として、どのようなことを考えているか。
- (4)羽村市のイメージや歓迎の言葉などを描いた看板やデザインを施した花壇などを設置して、国体のキャンペーンに早期から取り組んではどうか。
- (5)国体に向けた施設整備計画はいつごろ決定するのか。
- (6)国体開催に向けて、いろいろな施策を打ち出すことは、さらなる市民意識の向上とともに低迷している市内の産業・商工業の活性化につながるかと考えるがいかがか。

1. 特別支援教育・発達障がい支援の強化充実を

- (1)東京都特別支援教育推進計画の第三次実施計画案の骨子について
 - ①すべての小学校・中学校に「特別支援教室」を設置することが明記されているが、この方向性に対し、羽村市はどのような認識をもって、その方向に進もうとしているのか。また、今後の具体的施策はどう考えているか。
 - ②情緒障がい等通級指導学級の利用者数の著しい増加に対応するため、区市町村における特別支援教育の将来展望と体制整備方針を明らかにするよう求めている。東京都実施計画を待つまでもなく、羽村市としても先進的な体制整備方針を立て、取り組むべきと考えるが、市の考えを聞く。
- (2)特別支援教育・発達障がい支援の強化充実についての提案について
 - ①通級学級、固定学級、教育相談室、家庭支援センター、保健センター、各学校等とのイントラネットを個人情報配慮した上で整備を急ぐべきではないか。
 - ②これまで発達障害支援室の提案をしてきたが、さらに児童虐待防止も踏まえた、発達段階に応じた個別支援ができる横の連携を重視した支援室を設置してはどうか。
- (3)放課後あるいは長期休みの居場所づくりについての市の考えを度々聞いてきたが、その後どのように充実が図られ、今後どう推進していくのか。

9 月 7 日

(4) 発達障がいや、その他文字を認識することに困難のある児童生徒のためのマルチメディア
デジ教科書の普及促進について、市はど
のように促進するのか。

2. 浸水する道路対策について

(1) これまで羽村市が実施してきた雨水対策の経
過と今後の取り組みについて聞く。

(2) 台風やゲリラ豪雨が発生した場合、どのよ
うな基準により、どのような体制で臨んでき
ているか。

(3) 現在もなお、台風やゲリラ豪雨の際に浸水す
る道路がある。羽村市としては、そのような
場所が何カ所あると認識しているか。また、
それらの場所に対しどのような対策を講じて
いくのか。

3. 奥多摩街道の安全対策について

(1) 奥多摩街道の安全対策における、市の基本的
考えを聞く。

(2) 今年度の羽村市と東京都西多摩建設事務所と
の協議会において、どのような意見交換、また
要望を出したのか。

3 人目

2 番

大塚 あかね
(60 分)

1. 生涯現役の街の実現を

(1) 羽村市は「高齢者」に対して、どのような認
識を持っているのか。

(2) 高齢者の社会参画について

① 高齢者の方がいままで培ってきた技術や知
識をスキルアップできる講座やその後の活
動につなげることができる内容の講座の開
設が必要ではないか。

② 老人クラブが自発的に活動ができるための
支援をどのように行っているのか。
また、今後、どのように行っていく考えか。

③ 今後市内でも増えていくであろう、アクティ
ブシニアによる活動を行政としてどのよ
うに活用していく考えか。

④ 地域を支える団体や行政関係の団体への、
積極的な登用を行うべきではないか。

(3) 高齢者の雇用・就業支援について

① 65 歳までの定年引き上げ、継続雇用制度の
導入などの現状、そして促進はどのよ
うに行われているのか。

② 「70 歳まで働ける企業」の普及・促進の現
状と普及・促進について伺う。

③ シルバー人材センターについて

a. 平成 25 年までにシルバー人材センターは
公益法人化するが、進捗状況と公益法人化
以降の就労支援など、体制について伺う。

9 月 7 日

			<p>b. 就業率アップのためにも積極的な受注が必要と思うが、現在の受注活動と今後の受注活動について伺う。また行政としての支援についての考えを伺う。</p> <p>2. フィルムコミッション事業はいつ発足するのか</p> <p>(1) フィルムコミッション事業を発足する準備はどこまで進んでいるのか。</p> <p>(2) 多摩地域フィルムコミッション連絡会、加入自治体とのタイアップ、連携についてどのように考えているのか。</p> <p>(3) 本市における、この事業のビジョンと推進目的について伺う。</p> <p>(4) 東京隣接の複数の地域の中で羽村市がロケ地としての優位性を発揮していくためにどのような施策をとっていく考えか。</p> <p>(5) 運営は観光協会、市民協働、NPO法人、行政という方法が考えられるが、本市においてはどの手法をとる予定か、伺う。</p>	
4 人目	9 番	濱 中 俊 男 (45 分)	<p>1. 児童館・学童クラブ等の充実について</p> <p>(1) 「放課後子ども教室」の実施について</p> <p>① 今後の予定は</p> <p>(2) 市立保育園の民営化について</p> <p>① 今後の予定は</p> <p>(3) 児童館・学童クラブの充実について</p> <p>① 児童が安心して過ごせる場所として、児童館の課題は何と考えているか。</p> <p>② 児童館に正規職員を配置する考えは。</p> <p>③ よりゆとりのある学童クラブの運営はできないか。</p> <p>2. 羽村駅に「待合室」の設置を</p> <p>(1) 「待合室」について</p> <p>① 青梅線内でプラットホーム上等に「待合室」が設置してある駅を把握しているか。</p> <p>② 小作駅に「待合室」が設置された経緯はどうか。</p> <p>③ 羽村駅にも設置するよう、市からJRに働きかける考えはないか。</p> <p>④ 仮に設置する場合、羽村市の負担はないか。</p>	9 月 7 日
5 人目	16 番	市 川 英 子 (60 分)	<p>1. 多摩川右岸河川敷を国から無償で借りて、多目的で利用できる市民広場を</p> <p>(1) 郷土博物館と青梅リバーサイドパークとの間にある河川敷は羽村市の行政区で現在は、芝生の広場と何も利用されておらずフェンスで囲まれている土地に分かれている。利用されていない方の土地を市で無償で借り青年も対象にした多目的で利用できる市民広場（公園）の設置を考えてはどうか。</p>	9 月 8 日

6 人目

3 番

西 川 美佐保
(60 分)

2. 郷土博物館から青梅リバーサイドパークへ散策できるよう遊歩道の設置を

(1)郷土博物館から青梅リバーサイドパークへの道は完全に道が遮断されている。ここに遊歩道が設置されれば、多摩川兩岸を通りほぼ一周することができる。市民の利便性をはかるため遊歩道の設置を積極的に推進すべきではないか。

3. 北杜市とのさらなる交流を深めるために

(1)2007年5月28日、東京都品川区と山梨県早川町は「マウントしながわ利用協定」を締結した。これは、17年間続いてきた品川区と早川町の「ふるさと交流協定」による交流をさらに深めることを目的に、早川町にある広さ4万平方メートルの「丸山」をふるさとの山として丸ごと自由に使える里山「マウントしながわ」として協定し、山は品川区に無償で提供されている。品川区では市民団体が中心となり、里山の手入れなどを行っている。

羽村市でも市民主体で行うのが望ましいが、まず、両市で協定を結ぶことが必要と考える。市として、積極的に推進すべきと思うがどうか。

1. 羽村市の具体的な「新・成長戦略」について

(1)羽村市の水ビジネス開発について

- ①市の水道施設に関わる技術者の技術を後世に残し、スムーズに保守管理するためのマニュアルを本や映像等でも作成してはどうか伺う。
- ②市の上下水道技術を生かし、企業や第三者機関と協力し、海外に事業参加できる仕組みを確立し、今後の新たなビジネスとして立ち上げてはどうか伺う。
- ③上下水道の企業債等を繰り上げ償還した場合の影響はそれぞれどうか。
- ④上下水道の使用量が年々減り、収入も減っているなか、安定した上下水道事業を行っていくためには安定した収入の確保が必要と考えるが、市として今後、対策はどのように考えているのか伺う。

(2)「企業誘致」と「企業間交流」について

- ①企業誘致の税制優遇措置を図ることや、事業用地探しをサポートするため不動産業者や金融機関などの宅地建物取引業者にコーディネーターとして登録して頂き、マッチングさせる事業について、市はどのように考えているのか伺う。

9月8日

②市内企業へ新たな商品、例えば羽村の水を利用した、美容や健康に効果があるという「酸素水」などの開発を援助したり、「企業間で情報交換できるインターネット」を構築してはどうか。

(3)「観光・商業の活性化」について

①ローカルラジオ番組「FM茶笛(チャッピー)」は、埼玉県西部と多摩西部のエリアで聴取でき、市でも「風のおわら」や市民パトロールセンターの取材を受けている。協定を結び、羽村の観光、市政情報、防災情報等の提供を、テレビはむらのラジオ版として推進してはどうか。

②チューリップ畑の水田を「田んぼアート」として、羽村市の観光振興を図ってはどうか。

③羽村市は杏林大学と協定を結んだが、今後、観光・商業の活性化にどうつなげていくのか。また他の大学との連携についてどう考えるか伺う。

④北杜市などと連携を図り、空き店舗に「アンテナショップ」を出店してはどうか。

⑤夏まつりの時のような「歩行者天国」を年に数回実施し、フリーマーケットや路上ライブ等も開催し、商店街の集客を図り、「地域コミュニティ」の場を創出してはどうか伺う。

2. ヒブワクチン、子宮頸がんなどのワクチン接種等について

(1)ヒブワクチン、子宮頸がんワクチン、及び肺炎球菌ワクチンについては、今後何を優先し、どのような助成額を検討されたのか伺う。

(2)厚生労働省は新型インフルエンザのワクチン接種について、10月1日から国による接種事業を開始する予定である。その後、11月後半から新臨時接種として、市の事業としての接種に変更されるが、切り替えに混乱が予想される。市としてどのように対応するのか伺う。

(3)21年度の子宮頸がん、乳がんの無料クーポン券事業が終了し、検診率が確定したと思うが、それぞれ何%だったのか伺う。また若い女性の子宮頸がんの検診率を上げるため、今後どのような対策を図るのか伺う。

3. ポイ捨てのないまちづくりについて

(1)青梅市でも実施された「ポイ捨て禁止条例」を羽村市でも制定することについて、市の考えを伺う。また、同じ見守りとして、パトロールセンターの車に「ポイ捨て禁止」のシールを貼って市内巡回してはどうか伺う。

7人目

4番

橋本弘山
(60分)

(2)小学生に「ポイ捨て禁止」のポスターを描いて頂き、選ばれた子どもたちの作品を看板にして、ゴミが捨てられやすいところに立て、ごみを捨てない意識改革を市全体に推進してはどうか伺う。

(3)北区を参考に、「公園ボランティア」を、公園だけでなく道路の清掃と花壇や植木の植栽も行う「美化ボランティア」へと枠を広げ、歩道や危険の少ない道路も含めて、公園、道路、花壇それぞれに美化を行うボランティアを募り、全体の人数を拡大してはどうか伺う。

1. 普通交付税の「不交付団体」から「交付団体」に移行した影響と、これからの財政運営について

(1)交付団体に移行したことにより、国や東京都の様々な補助制度などに何か影響は出るのか。

(2)羽村市は、これまでも高い水準の行政サービスを提供してきたと思うが、交付団体に移行したことにより、これらのサービスや建設事業等に影響は出てくるのか。

(3)交付団体に移行した大きな要因は市税収入の減少との説明であったが、この状況を踏まえ、これからどのような財政対策を講じていくのか。

2. 自然災害対策について

(1)ゲリラ豪雨対策について

①今夏の羽村市でのゲリラ豪雨の被害状況は。

②ゲリラ豪雨により浸水、氾濫が予測される地域を把握しているか。

③ハザードマップは通常、地震や河川の氾濫などを想定しているが、ゲリラ豪雨による災害「内水氾濫」も含めた羽村市独自のハザードマップを作製したらどうか。

④雨水管の限界は毎時何ミリの雨を想定しているか。

⑤雨水管への負担軽減のために、雨水をなるべく地下に浸透させるためにどんな施策を行っているか。

⑥羽加美緑地公園内に存在する遊水地は十分な機能を備えているか。

⑦現在の土嚢の活用、保管状況は。

⑧今後のゲリラ豪雨に対する取り組みは。

(2)熱中症に対する取り組みについて

①学校、幼稚園、保育園等における熱中症の発生状況について。

②高齢者、障害者の方々の熱中症の発生状況について。

③熱中症に対する周知、対策、指導について。

9月8日

8 人目

17 番

川 崎 明 夫
(40 分)

1. 再任用制度について

- (1) 22 年度の再任用希望者と再任用された人数は。
- (2) 昨年の 12 月議会で同様の質問の答弁で、週 4 日の事務職で平均年収 280 万円、週 3 日で 210 万円とあったが現状は。
- (3) 市民が納得する勤務形態、給料だと考えるか。
- (4) 知識や経験を生かせる職場環境に配置されていると考えるか。
- (5) 今後の採用の人数の見通しと対応について。
- (6) 市が補助金・助成金等を交付している団体への再就職のあっせんを行っているのであれば、その目的や人選等についての考え方は。

2. 中小企業振興資金融資制度について

- (1) 都の融資制度や商工会の商工貯蓄共済による融資制度のように利用しやすい制度にすべきと思うが。
- (2) 融資枠の緩和とともに償還期間の延長についても検討すべきと思うが。
- (3) 中小企業金融円滑化法が昨年未の融資に間に合うように 12 月 4 日に施行された。地域の経済金融の回復や活性化に資するために関係する機関に周知を図ったとされているが、市の融資制度も時限的でも返済期間を延長するとか、条件の弾力的な運用を図るべきと思うが。

9 月 8 日

9 人目

10 番

瀧 島 愛 夫
(60 分)

1. 東小学校の通学路について

- (1) 通学路の危険性の除去についての考えを伺います。
- (2) 狭あい道路の整備計画策定に当たり、検討委員会において慎重に検討された結論について伺います。
- (3) 奥多摩街道の拡幅計画の内容を伺います。
- (4) 羽村橋交差点から福生方面に数 10 メートルの拡幅で歩道を設置し既存の歩道に接続することにより、区画整理地区内の水道局の用地まで安全に通行でき、その用地を公園整備することで東小までの通学路が確保できるのではと思います。市としての考えを伺います。

2. 給食費の未納、市営小作駅前駐車場について

- (1) 給食費の未納について
 - ①悪質な未納者に対し、法的措置を取りましたが、その後の状況はいかがか伺います。

9 月 8 日

10 人目

15 番

門 間 淑 子
(60 分)

- ②その他の未納者への対応はいかがされているのか伺います。
- ③法的措置を取ったことにより、未納が改善されていますか。今後の取り組みと合わせ伺います。
- (2) 市営小作駅前駐車場について
 - ①4カ月が経過しました。利用状況等、初期の計画通り運営されていますか伺います。
 - ②けやき共同組合の現況を伺います。
 - a. 解散したのですか。
 - b. 組合財産の処分について情報をお持ちですか。

9 月 8 日

1. 子育て支援策の一層の充実を

- (1)子どもや母親の健康確保について
 - ①新生児訪問指導の訪問率は、計画策定時 77%、26 年度 100%となっているが、早急に 100%に近づけるべきではないか。
 - ②乳児家庭全戸訪問事業を早急にスタートさせるべきではないか。
 - ③養育支援訪問事業のスタートはいつからか。
- (2)ファミリー・サポート・センター事業について
 - ①21 年度の会員総数は何名か、利用会員・協力会員はそれぞれ何名か。
 - ②21 年度の利用回数は何回か。
 - ③対象児童を小学 6 年生まで広げてはどうか。
- (3)放課後子ども教室の実施について、具体的スケジュールを伺う。
- (4)市立保育園の民営化について
 - ①ガイドラインは策定されたのか
 - ②2 園を民営化すれば待機児は 0 になるのか。
- (5)児童虐待防止について
 - ①保育施設での共通認識はどのように図られているか。
 - ②教職員の共通認識はどのように図られているか。

2. 赤字財政の今こそ、事業の優先順位を見直すべき

- (1)22 年度は交付団体に移行することになったが、23 年度も同様か。
- (2)平成 22 年 2 月 10 日に示された普通会計財政収支試算の概要に、変化はあるか。あるとすれば、どこが変化するか。
- (3)議員全員協議会 (8/19) での説明では、「年度途中だが、歳入の確保や経常的経費の支出抑制に取り組む」とあったが、具体策を伺う。
- (4)西口区画整理の凍結や、市民参加の補助金制度の見直しこそ急務ではないか。

1. 羽村の教育の向上を目指して

(1) 小中一貫教育について

- ① 一中・二中学区内の小中学校保護者への説明は十分にされたか。
- ② 市民への説明は広報紙のみか。
- ③ 補充される教員の質は十分か。
- ④ 相互の教員乗り入れで、授業時間と内容に支障はないか。

(2) 教育の質の向上について

- ① 学校という社会機関の任務をどのように考えているか。
- ② 小中学校は英語よりもまず国語と考えるが如何か。
- ③ 自然科学や理科の魅力ある授業づくりをどのように考えているか。

(3) 児童・生徒・教員の社会奉仕活動について

- ① 平成 9 年 6 月 18 日法律第 90 号による経験を教員はどのように生かしているか。
- ② 小・中学校におけるプルトップ等の収集活動の実態はどうか。

(4) 教育施設の建て替えについて

- ① 学校施設と地域の連携をどのように考えているか。
- ② 東小中学校の校舎建て替えの検討を準備すべきではないか。
- ③ 教育理念を校舎建て替えの中でどう生かしていくか。
- ④ 建て替え時に多摩産材（木材）を活用する考えはないか。

2. 西口区画整理の不明なる部分について

(1) 借地・借家について

- ① 借地権者数をどのように把握しているか。
- ② 借地権者の権利への対応と 2 次案への反映は。
- ③ 借地権と使用収益権の関係をどう説明しているか。
- ④ 借地権未申告者への対応はどうしているか。
- ⑤ 借家人の居住権をどう考えているか。
- ⑥ 工事に伴う一時立ち退き補償問題をどうとらえているか。
- ⑦ 事業の実施で地代・家賃はどのように考えているか。

(2) 土地区画整理法第 89 条の解釈について

- ① 第 2 次案には照応の原則が全て生かされているか。
- ② 価格照応論と地価上昇・受益者負担論をどのように考えているか。

(3) 土地の所有権と補償問題について

- ① 生存権的土地所有者と資産的土地所有者をどのように考えているか。
- ② 減歩に補償のない訳は何か。

12 人目

1 番

鈴木拓也
(60 分)

- (4) 第 2 次案（見直し案）には 4 つのスローガンの具体的施策が入っているのか。
- (5) 地区計画や景観計画、色彩ガイドライン等が未だに示されないのは何故か。
- (6) 固定資産税等の税負担はいつどのようになるか。

9 月 9 日

1. 羽村駅西口区画整理事業の抜本の見直しを

- (1) 区画整理審議会での審議について
 - ① 審議はどこまで進んだか。これから何を審議し、換地設計案（2 次）はいつ発表されるか。
 - ② 88 街区の審議を経て、何箇所の見直しを行うことになったか。
- (2) 審議会に提出された「換地設計案（2 次）位置想定」について
 - ① 権利者から提出された意見書 580 人・871 件のうち、何%が反映された換地案となっていたのか。
 - ② 反映されなかった意見は、なぜか。主なものについて具体的に述べよ。
 - ③ 意見書を提出しなかった権利者何人の換地案が変更になっていたのか。
 - ④ 発表する換地設計案（2 次）に対する意見書の提出数は、かなり少なくなると想定しているか。
- (3) 資金計画について
 - ① 平成 24 年度から 10 年間で、一般会計から年平均いくら使い、いくら借金をする計画となっているか。
 - ② この資金計画どおりの進行は難しくなっているとの認識か。
(答えがいずれにせよ) その理由は何か。
 - ③ 今年度末で、事業の進捗状況は全体の何%になる見通しか。

(4) 事業の抜本見直しを

- ① 財政が厳しく、多くの反対の声が続く今こそ、抜本見直しをすべきと考えるがどうか。

2. 後期高齢者医療制度の見直しを

- (1) 保険料は 4 月から平均いくら値上げとなったか。
- (2) 何%の被保険者の保険料が値上げとなったか。
- (3) 夫が後期高齢者医療被保険者となり、夫婦ともに国保に加入していた昨年度と比べ、約 6 万円も保険料が値上げになった市民がいる。
なんらかの対策を講じるべきではないか。
- (4) 短期証の発行状況、発行方法はどのようになっているか。どのような基準で発行しているか。
- (5) 資格証の発行はおこなうべきでないと考えるがどうか。

13 人目

7 番

馳 平 耕 三
(60 分)

- (6) 窓口負担が実際には 1 割でよいのに、広域連合からは 3 割と通知されている市民にたいする対応はどうなっているか。もれなく 1 割に変更されているか。
- (7) 日の町がおこなっている 75 歳以上の医療費無料化制度、東大和市がおこなっている入院見舞金など、高齢者にたいする医療費の負担軽減制度をおこなうべきではないか。
- (8) 政府で検討されている新たな高齢者医療制度について、市長の見解を問う。

9 月 9 日

1. 新時代をリードする広報戦略を

- (1) 武蔵野市が行ったような広報効果測定を行う考えは無いか。
- (2) これまで、羽村市はどのような広報戦略をとってきたか。それはマニュアル化されているか。
- (3) テレビ・ラジオ、インターネットポータルサイト、雑誌、メディアへのアプローチは。
- (4) 広報のスピードという点に関して、プレスリリースした内容を、何日後に、ホームページなどに情報を公開しているか。
- (5) 市の広報に関して、NPO、広告代理店、大学など民間と協力する考えは無いか。
- (6) 双方向の情報交換の仕組みづくりが重要になると考えるが、市は新たに何か考えているか。
- (7) 高齢者・色弱者に配慮した広報になっているか。
- (8) 広報紙やテレビはむらの中で宣伝広告を導入する考えは無いか。
- (9) 市民に計画の策定に参画を求める観点から広報のあり方を研究できないか。

2. 国民年金と生活保護について

- (1) 現在、羽村市で 65 歳以上の国民年金を支給されている人と生活保護を受けている人の月額平均受給額はいくらか。
- (2) 羽村市で、昨年、生活保護でもっとも多く扶助を受けている家庭は、年間どれぐらいの扶助を受けたか。
- (3) 羽村市では、何年前から、生活保護費のほうが国民年金受給額より高くなったか。
- (4) 直近の国民年金の未納率は何%か。
- (5) 厚生労働省は、年金記録の回復の追跡調査に自治体の協力を求めている。「名古屋方式」として、市職員による独自調査を行っている自治体が増えているが、羽村市はどう対応しているか。
- (6) 年金記録について、羽村市では紙台帳は残されていないか。残されていないとすれば、いつ、どのような形で紙台帳を破棄したか。

14 人目

11 番

水 野 義 裕
(60 分)

- (7)現状では、羽村市に対して年金の相談は年間何件ぐらいあるか。また、相談にどう対応しているか。相談窓口を設ける考えは無いか。
(8)年金制度の回復について、羽村市独自で何か新たな手法を考えているか。

3. 財政状況をより速く・正確に市民に伝えるべき

- (1)長期総合計画の策定には財政計画を枠組みにして最初に掲げるべきではないか。
(2)財政予測数値を予算編成時に公開し、財政規律を明確にすべきだと考えるがどうか。

1. 公共施設という自治体財政の危険要素

- (1)今後予想される公共施設の改築や大規模改修の費用が、自治体財政を破綻させかねないという問題があることを認識しているか。
(2)市内には改築や大規模改修の対象となる施設は、どんなものがいくつあるか
(3)それらが改築や大規模改修を迎える時期は、どのように分布しているか。
(4)またそれに必要な概算費用について把握しているか。
(5)この問題にどう対応しようと考えているか。組織を横断する施設台帳のようなものを作り管理してはどうか。
(6)スクラップすべきものと、維持すべきものについて検討しているか。また、その検討に市民の声を反映すべきではないか。
(7)道路や上下水道について、これまでどのような基本姿勢で対応してきたか。また、今後はどう対応するか

2. これまでの教育施策・これからの教育施策

- (1)2学期制について、4月1日付けの「羽村の教育」に検証内容が掲載されているが
①「学期の節目に長期休業日を設定することも検討する。」とあるが、検討したか。
②「学校と家庭が連携を図る必要がある。」とあるが、どんな具体策を講じたか。
③定期考査に対する学習について「保護者に理解を求めていく必要がある。」とあるが、これについてはどうか。
(2)特色ある教育予算について
①これによってどのように変わったか。
②効果があるとすれば増額も検討すべきではないか。
(3)土曜授業についての研究はどこまで進んだか。
(4)教育の情報化について
①国の補助金を使って一括導入したシステム・機器の活用状況は

9月9日

15 人目

5 番

山 崎 陽 一
(60 分)

- ②電子黒板を活用している事例はあるか。
- ③教育の情報化に対する検討はどこまで進んだか。
- (5)新学習指導要領への対応状況は、とくに小学校での英語教育について
- (6)校舎内の耐震対策はどうなっているか。

9 月 9 日

1. 区画整理撤回要求 第 14 弾

- (1)第 4 次長期総合計画にあわせ、平成 14 年から 23 年までの普通会計財政収支見込が出ている。見込みとの乖離について市の見解を問う。
- (2)交付団体に転じた今こそ、長期の財政見通しをたて、住民に示すべきではないか。見解を問う。
- (3)2008 年 6 月の議会答弁で、都市再生区画整理事業補助金を 7 年間で 39 億 3700 万円を見込んでいた。政権が変わっても継続されると考えるか。
- (4)6 月議会の答弁「先導的都市環境総合支援事業」の対象事業内容と、補助金額を聞く。

2. 区画整理の進め方に抗議する

- (1)まちなみ 33 号について聞く。
 - ①「街路変更概要や宅地造成イメージの権利者への説明」はいつ、どのように開かれるのか。
 - ②換地設計 1 次案の郵送資料は、換地先の土地の寸法さえも無いなど、わかりにくかった。2 次案郵送の際に改善する意思はあるか。
 - ③1 次案で意見・要望書を提出しなかった権利者が 2 次案で換地が変わったとき、どのように説明をするのか。
 - ④審議会の議事録が製作期間の 2 ヶ月経過しても出来ない。作業工程の説明と、対応を聞く。
- (2)先行取得地について聞く。
 - ①先行取得地は何筆、計何平米か。
 - ②上物を含めた購入は何件で、現在何棟残っているか。

1. 米軍横田基地について

- (1)横田基地への航空自衛隊航空総隊司令部の移駐について今後の見通しなど、どのように情報提供を受けているか。
- (2)横田基地に、大型輸送機としてもっとも頻繁に飛来しているC-17がアラスカの基地で墜落する事故がおきた。同機は1月に横田にも飛来している。横田で墜落すれば大惨事は必至であり、原因究明が求められるが、この件についての情報提供は受けているか。
また、市長の見解はどうか。
- (3)横田基地に常駐するC-130が上空での旋回や急降下など、より戦場での対応を想定した訓練となっている。住宅地を低空で通過することも増え、市民は夜間の訓練による騒音に悩まされている。騒音の測定状況、市民からの苦情、市の対応はどうか。
- (4)市として市民とともに基地の返還に取り組むべきと思うが、市長の考えはどうか。

2. これからの保育行政について

- (1)政府は6月29日、少子化社会対策会議で「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱を決定した。これらに現れた政府の動きについて市の考えはどうか。
- (2)羽村市の保育において、「障害児保育など民間で難しい部門に責任をもつ、市全体の保育の水準を向上させるなど、公立保育園がしっかり役割を果たすべき」との声がある。
これからの公・私の役割についてどう考えているか。
- (3)公立保育園の民営化が争われた各地の裁判で、「保育を受ける権利の侵害」「民営化により子どもや保護者が傷つく」などのことが問題になった。これらについてどう考えるか。